



教育の推進	<p>＜特別支援教育の推進＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施</li> <li>充実</li> <li>エンカレッジルームの活用促進</li> <li>副種交流、交流及び共同学習の実施</li> <li>充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別な支援が必要な児童への学校生活支援シート、個別指導計画の作成</li> <li>校内委員会を月1回実施</li> <li>毎時間のエンカレッジルーム担当教員の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の保育所、幼稚園等との交流を1回以上実施</li> <li>児童アンケート「友達を大切にしている」90%以上</li> </ul>	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内委員会（月1回）、生活指導夕会（金）を通して、配慮が必要な児童の情報を共有し、エンカレッジルームなどの個別対応に活かしている。</li> <li>一方、保護者アンケートは「分からない」が53%である。学校側の取り組みをどう発信していくかが課題である。</li> <li>児童アンケート「友達を大切にしている」は昨年度同様95%である。（保護者99%）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も児童に配慮した取り組みを継続し、エンカレッジルームなどを活用して対応して欲しい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する児童の対応について教員間で情報を共有し、個別対応に活かした。</li> <li>「友達を大切にしている」児童は1学期を上回る98%である。（保護者98%）</li> <li>「たぶのき教室」は、「わからない」が53%から44%に減少したことから学校の様子も少しずつ理解されてきた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳授業地区公開講座でのスクールカウンセラーによる講演会の取り組みは、とてもよかった。</li> <li>年度末の児童の引継ぎをしっかりと行い、次年度の学年・学級経営に活かす。</li> </ul>
	<p>＜不登校の未然防止、早期発見、早期対応＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談の教科</li> <li>いじめの未然防止、早期発見、早期対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸川区子どもの権利条約の理解</li> <li>児童の心に響く共感的な生活指導</li> <li>いじめの授業やいじめアンケートを年間3回実施</li> <li>いじめ防止対策委員会の定期的開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>L-Gateを活用して毎日児童に自身の健康・心機状態をチェックさせ、何か変化があれば早期対応する。</li> <li>いじめの可能性が疑われる場合、欠席5日以上で関係者への聞き取りや連絡等を確実に行う。</li> </ul>	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月のふれあい月間がいじめアンケートを実施。結果を集計し、いじめ対策委員会での共有をした。今後、11月、2月にも実施する。</li> <li>今年度からL-Gateを導入した。日々の児童の変化に迅速に対応できるようになったので、生活指導や学級経営に活用していく。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年は13件だったが、今年は29件と増えたが、児童がより話しやすい環境にできたからだと思う。</li> <li>L-Gateの活用で児童の気持ちが晴れるようになった。家で愚痴を言う回数も減った家庭もある。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>L-Gateの結果から、児童理解が深まり、生活指導及び学級経営に活用できた。活用の仕方は学級差がある。</li> <li>6、11、2月のふれあい月間でアンケートを実施した。問題があった場合は早期に対応し、いじめ防止対策委員会で共有し組織的に対応した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生が見ていない場で嫌がらせがある可能性もある。児童がSOSを発信していた際には、丁寧に対応してほしい。</li> <li>道徳や学級活動の時間を活用し、様々な思いをもった人間が集まって学級を形成していることを理解できるようにしていく。</li> </ul>
教育の充実	<p>＜不登校対策の充実＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組織的な対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な観察や情報共有</li> <li>校内における居場所づくり</li> <li>関係機関との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校児童の関係諸機関との連携100%</li> </ul>	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校児童の保護者と担任との電話相談、家庭訪問を実施している。日常的に情報共有を行い、校内における居場所づくりに繋げている。</li> <li>保護者アンケート「教員は児童の悩みごとや困ったことに寄り添っている」は79%である。（昨年度から5%減少）</li> <li>関係機関との連携は随時進めている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も注意深く一人一人の児童を見取り、保護者からの相談に対して学校として組織的な対応をしてほしい。不登校になった児童が少しずつ戻ってきているので、引き続き見守ってほしい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内での不登校対策委員会を月1回行い、早期対応方法を検討している。</li> <li>保護者アンケート「教員は児童の悩みごとや困ったことに寄り添っている」は90%と1学期に比べて大幅に上昇した。丁寧な児童・保護者対応を行えた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の中にゲーム性があつたり、何のためにこの学習をしているのか明確であつたりすると、学校がより楽しくなるのではないかな。</li> <li>不登校の未然対応、早期対応に努める。今年度作成した不登校対応方法一覧等を基に組織的に対応していく。</li> </ul>
	<p>＜自校（園）の取組の積極的な発信＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校（園）ホームページの充実等</li> <li>学校（園）公開の実施</li> <li>充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校ホームページの毎日の更新</li> <li>学校公開の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ閲覧数昨年度比100%以上</li> <li>学校公開への参加率90%以上</li> <li>保護者アンケート「教育活動の公開度」80%以上</li> </ul>	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケート「教育活動の公開度」は94%であり、昨年度より2%減少した。（昨年度と同水準）</li> <li>学校公開の6月参加率は91%である。</li> <li>学校ホームページは毎日更新している。昨年度4～6月（39680人）と比較し、今年度4～6月（45088人）の訪問数は確実に伸びている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPの更新頻度が高く、学校の様子がよく分かる。保護者も楽しみにしているため、今後も継続してほしい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケート「教育活動の公開度」は97%であり、高水準である。</li> <li>運動会参加率97%、音楽会参加率98%である。</li> <li>学校公開後の保護者アンケートは全教職員で共有した。改善が必要な場合は早期に対応した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPの更新頻度が高く、学校の様子がよく分かる。今後も継続してほしい。</li> <li>次年度も計画的に学校公開を実施してほしい。</li> <li>今後も積極的な発信を続ける。</li> <li>保護者が参観しやすい時期や時間帯に学校公開を設定する。</li> </ul>
学校（園）の地域社会に開かれたの実現	<p>＜保護者・地域の方々の協力による教育活動の推進＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者、地域人材の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校応援団、読書ボランティア、授業ボランティア等の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケート「保護者・地域の人材活用」80%以上</li> </ul>	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケート「保護者・地域人材の活用」は95%である。引き続き、地域の方と協力しながら教育活動を推進していく。</li> <li>1学期は体力テストや読み聞かせ、生活科町探検で保護者ボランティアを募り、教育活動を推進できた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のコミュニティも西葛西小内とどまらず、他の地域との交流・情報交換ができるとうい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケート「保護者・地域人材の活用」は95%で、1学期と同水準である。</li> <li>2学期は生地域巡り、読み聞かせ等で保護者ボランティアを募った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書ボランティア、読み聞かせ、校外学習引率の他に、ゲストティーチャーの活用も計画的に実施できるとよい。</li> <li>効果的な活用となるよう、実施方法を検討する。</li> </ul>
	<p>＜学校関係者評価の充実＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校統一された重点項目による評価実施</li> <li>評価分析結果の公表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校関係者評価にてA評価を80%以上</li> <li>保護者アンケートにて全項目の平均で肯定的な意見80%以上</li> </ul>	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の授業は楽しい（89%/94%）、教科担任制（92%/98%）、係活動・行事への取り組み（88%/94%）、保護者・地域の人材活用、学校からの発信、働き方改革については肯定的な意見が90%近い。（左の数字は児童/右の数字は保護者）</li> <li>「学校評価について学校の様子が分かる」は、76%であり、「よく分からない」14%なので、分かりやすい評価分析の公表が必要である。（よく分からないは昨年度より2%減）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価が高かった項目は現状のまま、取り組みを継続していく。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケートで15項目中13項目で80%以上（90%以上は10項目）を達成した。学校評価アンケートの際に説明資料を貼付したことで、保護者の「分からない」の回答率が減少した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の取り組みを発信しながら、保護者の協力を得て教育活動を推進してほしい。</li> <li>評議員会の意見交流も活発になってきて、参加が楽しみである。</li> </ul>
教育の特色ある展開	<p>＜特色ある教育施設を生かした教育活動の推進＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土俵の活用</li> <li>愛鳥モデル校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「わくわくすもう教室」や「わくわくすもう大会」の実施</li> <li>巣箱づくりの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケート「特色ある教育活動の実施」80%以上</li> </ul>	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケート「特色ある教育活動（わくわくすもう大会、わくわくすもう教室、巣箱づくり）」は97%、今後も学校公開、HP等を通じて、学校の取り組みを発信していく。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>西葛西小学校伝統の相撲を今後も継承して欲しい。わくわくすもう大会に向けて、まわしつけなどを教える講習会などを実施するのはどうか。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者アンケート「特色ある教育活動の実施」は99%。HP等を通じて、学校の取り組みを発信していく。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>すもうの経験は児童にとって思い出深いものになっている。</li> <li>巣箱づくりは地域との連携につながっている。</li> <li>すもう大会を今後も受け継いでいく。</li> <li>校庭の鳥を日常的に観察する雰囲気醸成していく。</li> </ul>
	<p>＜防災意識の向上＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災教育の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高学年児童を対象とした防災に関する授業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当日の児童アンケートにおける肯定的な回答90%以上</li> </ul>	—	B	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期は実施なし</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸川区長は防災に対する意識が高い。ぜひ学校でも取り組んでほしい。</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が主体的に行動できる力を養えるよう、予告なしの避難訓練を増やした。</li> <li>来年度に向けた防災教育計画を作成した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者や児童が、実際にマンホールトイレを設置したり、備蓄倉庫の見学ができたこととよい。</li> <li>避難所開設訓練の様子を共有する。</li> <li>学校公開での備蓄倉庫見学会を企画する。</li> </ul>
	<p>＜学校における働き方改革＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学校における働き方改革プラン」に基づく取組の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校経営支援を担う人材の導入</li> <li>校務の精選と見直しの継続実施</li> <li>定時退勤日の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価（教職員）での働き方改革推進に関する項目の肯定的な評価80%以上</li> </ul>	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年アシスタントの配置（低学年）、SSSの活用などを通じ、印刷、アンケート入力などの仕事を依頼できる環境が整ってきた。</li> <li>職員による改善案を集約し、校務の精選と見直しを実施する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>働き方改革（会議を減らす。紙を減らす等）で生まれた時間を授業の工夫に活用して児童に還元して欲しい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度から、10月から毎週水曜日が4時間授業になった。時間的なゆとりが生まれたことで、放課後の学年会や行事の準備などに充てられた。</li> <li>教職員A評価53%、B評価33%、C評価0%、わからない13%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の心身の健康のために、今後も継続して取り組んでほしい。</li> <li>校務の精選と見直しを継続的に実施し、生まれた時間を授業の工夫等、児童に還元していく。</li> </ul>